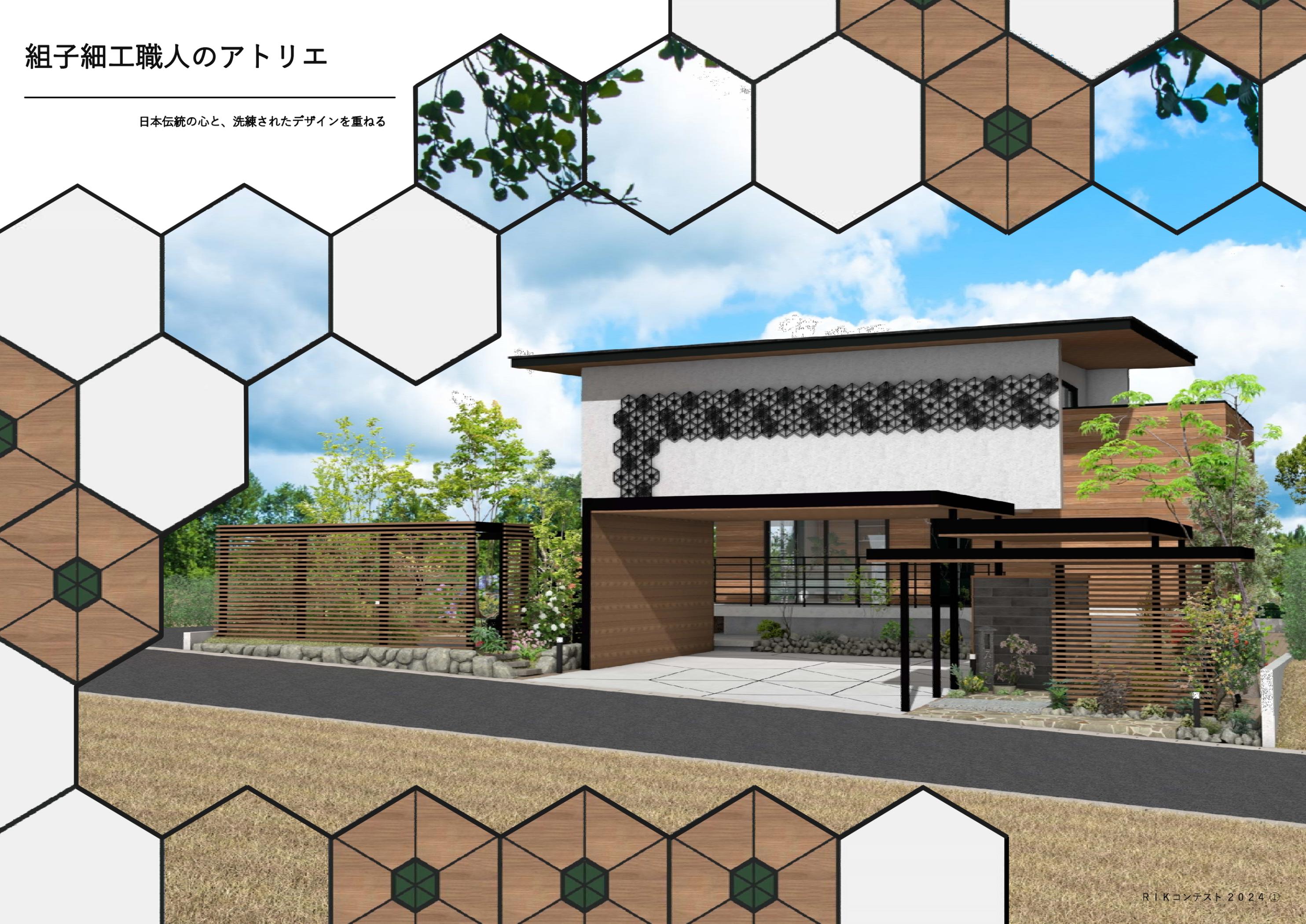


# 組子細工職人のアトリエ

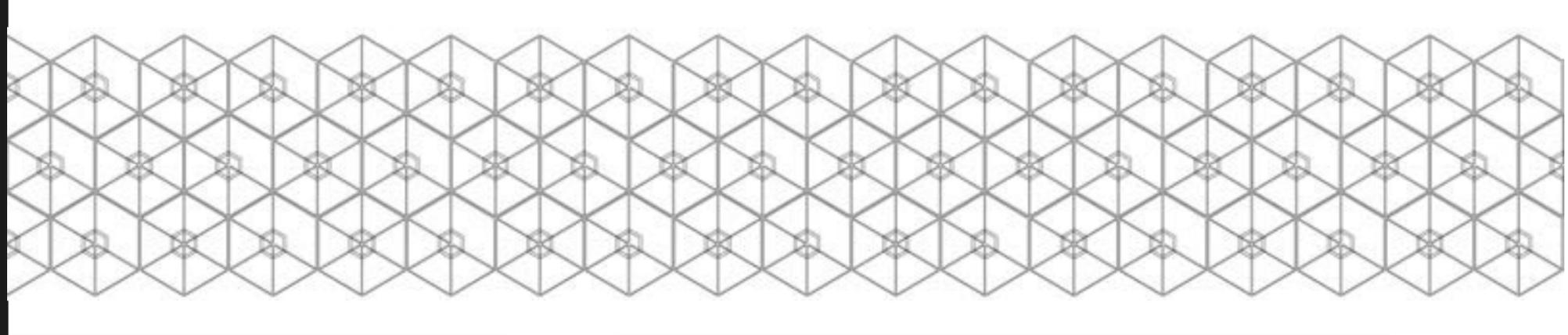
日本伝統の心と、洗練されたデザインを重ねる



## 伝統の心と、洗練されたデザインを重ねる

伝統的な和風建築の襖や欄間に使用され、建具技能の最高峰と言われる組子細工を、スクエアが基調のトレンドを意識したデザイン建物に取り込みました。

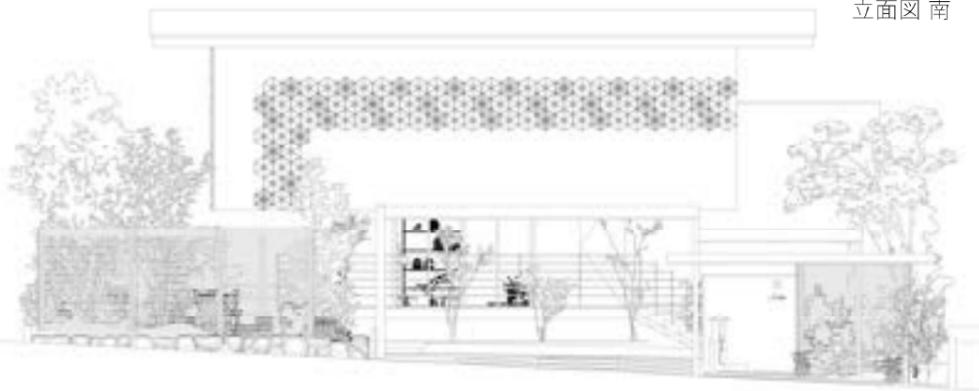
職人のお施主様に、400年続く伝統的な芸術を今後ますます発展させて頂けるよう、組子細工の美術館をイメージしたアトリエ住宅を作成しました。



立面図 西



立面図 南



アトリエの語源は「木片の堆積」から転じ、「大工、木工の仕事場」を意味しましたが、今では一般的に芸術家の仕事場をさす言葉になりました。木片を組み合わせ幾何学的紋様を形作る1つの技術が、多くの年月を職人の手により積み重なり、G7サミットの記念品等、日本を代表する芸術品になった組子細工に似た背景を感じ、今回の作品のタイトルに使用しました。



お客様のご希望で、門周りとカースペースから玄関までの動線を、雨に濡れずに移動できるよう、カーポートとルーフを提案しました。

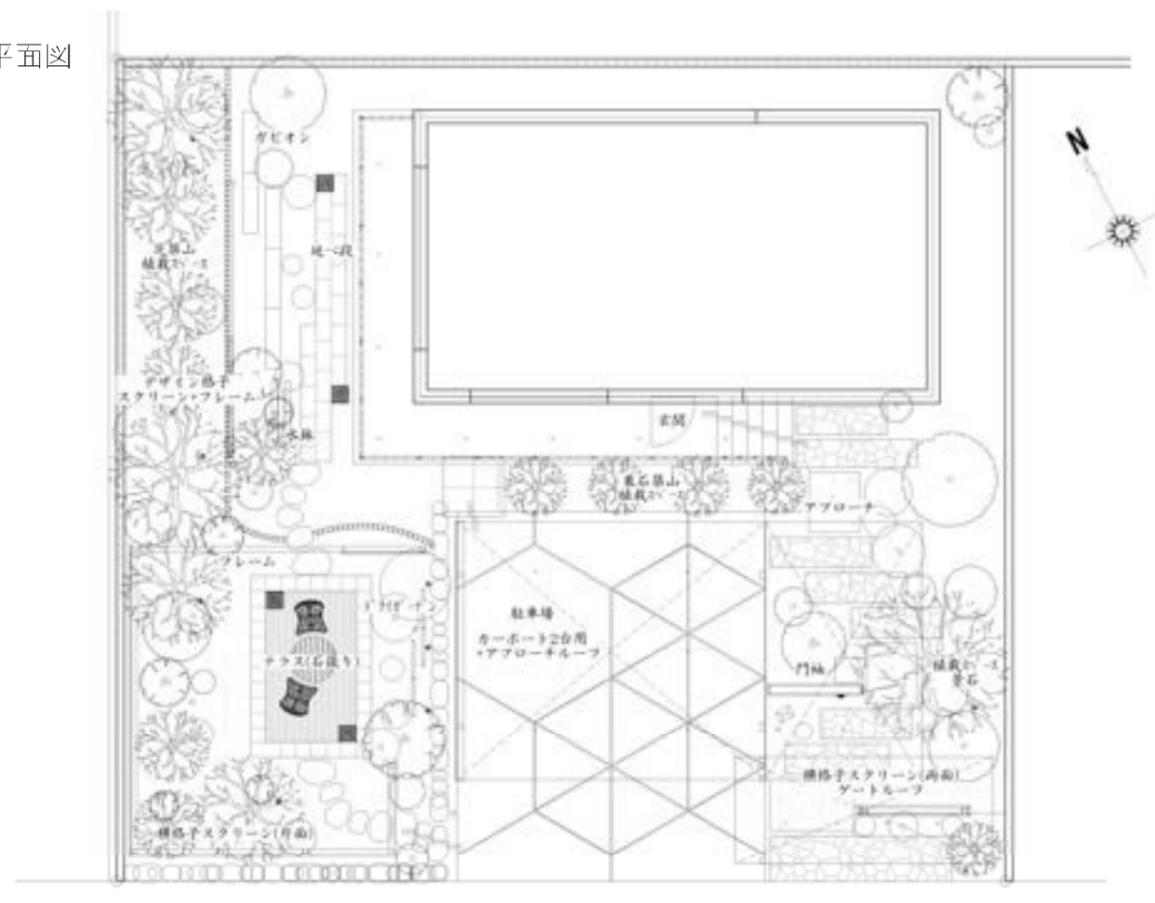
四角い箱が重なるデザインの建物に合わせ、道路勾配に合わせてフラットな屋根の高さを、段々にずらし設置しています。

アルミ部材の配色はブラック+木調で統一し、石積みの土留めや、アースカラーの敷材を使用することで、モダンなデザインですが、ナチュラルで温かみの有る外観にしました。

アプローチや門袖周りも屋根下ですが自動散水システムを取り入れ、日陰に耐える植栽をバランス良く施し、灯笼や水鉢で組子細工の、和のテイストを取り込みました。



平面図





道路との境は、美術館の雰囲気を作る為、芝で広めの築山を作り植栽スペースにすることで、外からの印象にパブリックなイメージを与えました。

テラスの有る南側の庭は、横格子のデザイン格子とフレームで囲い、空間を仕切ることで、プライベートをある程度確保できる庭にしています。

リビングから見える庭は、ガビオンやフレームでスクエアを重ねるデザインを踏襲しながら、組子細工に似たデザインのスクリーンを取り入れました。



夜のシーンも建物の組子細工デザインのアクセントが、裏に設置したバーライトで印象的に照らされます。

エクステリアにおいても、カーポートとルーフのダウンライト、植栽が浮き上がるように設置した、アッパーライト、動線の明るさを確保するポール灯など、様々な照明で華やかな空間を演出しました。

庭に有る据置きライトには、スクリーンにも使用した、組子細工のデザインのフードを掛けました。

組子細工風の複雑な影と隙間から漏れた光が、床面に星の様な模様を映し出します。



近頃は様々な職種で職人不足が囁かれるようになってきました。

目立たなくとも、長年培ってきた素晴らしい技術に光を当て、職人の方々の地位向上と共に、「職人」という仕事を、若い世代の方に自信を持って魅力的な仕事だとアピールして頂きたいと思いを含め、このプランを設計しました。

